

静岡県立大学グローバル地域センター

Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka

スピーカー

外岡達朗 | 静岡県危機管理監兼危機管理部長

平田 直 | 東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授

末廣 潔 | 海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター上席研究員

岩田孝仁 | 静岡大学防災総合センター教授

長尾年恭 | 東海大学海洋研究所長・教授

北村晃寿 | 静岡大学理学部地球科学科教授

小山真人 | 静岡大学防災総合センター副センター長・同大学教育学部教授

織原義明 | 東京学芸大学専門研究員

鎌谷紀子 | 気象庁地震火山部地震予知情報課評価解析官

I. S. サックス | 米国カーネギー研究所名誉研究員

生田領野 | 静岡大学理学部地球科学科准教授

吉田明夫 | 静岡大学防災総合センター客員教授

楠城一嘉 | 静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門総括・特任准教授

鬼頭 宏 | 静岡県立大学長

ワークショップ

南海トラフ地震の予測に 必要な観測・研究は何か

2017.2.1 水 10:00-17:00 開場：9:30 静岡県立大学谷田キャンパス一般教育棟3階2309講義室

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田 52-1 [当日連絡先] TEL 054-264-5102

[定員 120名]

主催 | 静岡県立大学グローバル地域センター

共催 | 静岡大学防災総合センター 東海大学海洋研究所

お問合せ先 | 静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門 楠城一嘉 〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠 3-6-1 もくせい会館 <http://global-center.jp>
TEL 054-245-5600 FAX 054-245-5603 Eメール: nanjo@u-shizuoka-ken.ac.jp

静岡県立大学グローバル地域センター | ワークショップ

Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka | WORKSHOP

南海トラフ地震の予測へ向けた研究力の向上が重要であるとの共通理解を構築するために、ワークショップ「南海トラフ地震の予測に必要な観測・研究は何か」を開催する。最近の観測研究により、プレート間の固着域周辺での多様な地震・地殻変動が検出され、切迫性の高まる南海トラフ地震の予測可能性が議論されている。その結果、国の中央防災会議によれば、地震の規模や発生時期を高い確度で予測することは、現状では困難であると言う。一方、静岡県第4次地震被害想定では、地震が予知さ

れて事前の避難等が実施された場合、被害軽減効果は大きく、その実現が望まれる。そこで、このような状況を踏まえ、南海トラフ地震の予測へ向けてどんな観測・研究が必要か、どんな地震予測情報が社会から求められているか、もう一度足元から見直し、研究力向上を共通認識とするためのワークショップを開催する。また、南海トラフ地震は大津波を引き起こし、活火山が連動して噴火することも想定されるので、静岡県における活火山や津波のリスク評価の現状も併せて議論したい。

プログラム

10:00	開会挨拶 鬼頭 宏 静岡県立大学長
10:07	来賓挨拶 外岡 達朗 静岡県危機管理監兼危機管理部長
10:10	招待講演 1 平田 直 東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授
10:35	招待講演 2 末廣 潔 海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター上席研究員
11:00	特別講演 1 岩田 孝仁 静岡大学防災総合センター教授
11:25	特別講演 2 長尾 年恭 東海大学海洋研究所長・教授
11:50	パネルディスカッション パネリスト 平田 直 東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授 末廣 潔 海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター上席研究員 岩田 孝仁 静岡大学防災総合センター教授 長尾 年恭 東海大学海洋研究所長・教授 コーディネーター 楠城 一嘉 静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門総括・特任准教授
12:30	休憩
13:20	研究講演 1 北村 晃寿 静岡大学理学部地球科学科教授
13:40	研究講演 2 小山 真人 静岡大学防災総合センター副センター長・同大学教育学部教授
14:00	研究講演 3 織原 義明 東京学芸大学専門研究員
14:20	研究講演 4 鎌谷 紀子 気象庁地震火山部地震予知情報課評価解析官
14:40	総合討論
15:00	休憩
15:10	研究講演 5 I. S. サックス 米国カーネギー研究所名誉研究員
15:30	研究講演 6 生田 領野 静岡大学理学部地球科学科准教授
15:50	研究講演 7 吉田 明夫 静岡大学防災総合センター客員教授
16:10	研究講演 8 楠城 一嘉 静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門総括・特任准教授
16:30	総合討論
16:57	閉会挨拶 長尾 年恭 東海大学海洋研究所長・教授

講演者プロフィール (敬称略 五十音順)

生田 領野

静岡大学理学部地球科学科准教授。同大防災総合センター副担当教員。海溝型地震発生帯の応力状態、すべりのモニタリングを研究する新進気鋭の若手研究者。

岩田 孝仁

静岡大学防災総合センター教授。南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループメンバー、日本災害復興学会理事などを務める。

織原 義明

東京学芸大学専門研究員。東海大学海洋研究所特任研究員を併任。足利市議会議員(二期)の経歴を持つ、社会派地球科学者。

鎌谷 紀子

気象庁地震火山部地震予知情報課評価解析官。地震防災対策強化地域判定会の主担当。科学と社会の橋渡しを目指す女性研究者。

北村 晃寿

静岡大学理学部地球科学科教授。同大防災総合センター副担当教員。自治体との協力による津波ハザードマップ作成及び沿岸部住民への防災教育を精力的に実施。

鬼頭 宏

静岡県立大学長・静岡県立大学短期大学部学長。美しい“ふじのくに”“まち・ひと・しごと創生県民会議委員、日本学術会議連携会員などを務める。

小山 真人

静岡大学防災総合センター副センター長。同大学教育学部教授。静岡県防災・原子力学術会議地震・火山対策分科会委員などを務める。

I. S. サックス

米国カーネギー研究所名誉研究員。これまで多数の日本人研究者と共同研究した経験を持ち、南海トラフ地震の予測研究に名乗りを上げた地球物理学研究の第一人者。

末廣 潔

海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター上席研究員。東京海洋大学特任教授を併任。海洋研究開発機構理事などを歴任。

外岡 達朗

静岡県危機管理監兼危機管理部長。「命」を守る危機管理を県政の重要課題の第一に掲げて、安全・安心な地域づくりを目指す。

長尾 年恭

東海大学海洋研究所長・教授。地震予知・火山津波研究部門長。南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性に関する調査部会メンバーなどを務める。

楠城 一嘉

静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門総括・特任准教授。静岡県石油コンビナート等防災アセスメント調査技術検討会メンバーなどを務める。

平田 直

東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授。地震調査委員会委員長、地震防災対策強化地域判定会会長、南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ主査などを務める。

吉田 明夫

静岡大学防災総合センター客員教授。神奈川県温泉地学研究所所長、地震防災対策強化地域判定会委員などを歴任。

お申込先 | ワークショップ | 南海トラフ地震の予測に必要な観測・研究は何か

静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門 楠城一嘉
〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館
Eメール:nanjo@u-shizuoka-ken.ac.jp

■お申込みいただく方についてご記入ください■

<http://global-center.jp>

お申込み先 F A X 番号 054-245-5603

フリガナ 会社名	フリガナ お名前
所属/部署名	お役職
電話番号 () -	FAX番号 () -
住所 (〒 -)	
E-mail	